

Syllabus Id	062532
Subject Id	007000
更新履歴	20060116 新規
授業科目名	英語（選択：英語γ）
担当教員名	林 剛司
対象クラス	全学科5年生
単位数	2 高専単位
必修／選択	選択
開講時期	通年（H.18）
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	S 5 HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

高校英文法を総復習し、英文を正確に理解する能力を身につける。理解できた英文を「音読」する習慣も身につけたい。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業程度の英文法の知識

学習・教育目標	重み	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		

授業目標

「英文読解」「音読」「リスニング」を行うことにより、TOEIC600点以上を目指したい。

授業計画（プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。）

回	メインテーマ		参観
第1回	前期オリエンテーション	学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第2回	Lesson 1	The Eurailpass	
第3回	Lesson 1	The Eurailpass	
第4回	Lesson 2	So Many Countries, So Many Maps	
第5回	Lesson 2	So Many Countries, So Many Maps	
第6回	Lesson 3	The Soybean Road	
第7回	Lesson 3	The Soybean Road	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Lesson 4	“Don't Work Too Hard.”	
第10回	Lesson 4	“Don't Work Too Hard.”	
第11回	Lesson 5	Freedom and Equality in the American Family	
第12回	Lesson 5	Freedom and Equality in the American Family	
第13回	TOEIC 問題演習	(プリントを配布)	
第14回	TOEIC 問題演習	(プリントを配布)	
第15回	前期末試験		×
第16回	Lesson 6	Tales from <i>Tsurezuregusa</i>	

第 17 回	Lesson 6	Tales from <i>Tsurezuregusa</i>	
第 18 回	Lesson 7	“The World and You”	
第 19 回	Lesson 7	“The World and You”	
第 20 回	Lesson 8	Do Your Best While You Can	
第 21 回	Lesson 8	Do Your Best While You Can	
第 22 回	TOEIC 問題演習	(プリントを配布)	
第 23 回	後期中間試験		×
第 24 回	Lesson 9	Computers Catch Cold	
第 25 回	Lesson 9	Computers Catch Cold	
第 26 回	Lesson 10	Bikini	
第 27 回	Lesson 10	Bikini	
第 28 回	TOEIC 問題演習	(プリントを配布)	
第 29 回	TOEIC 問題演習	(プリントを配布)	
第 30 回	後期末試験		×
課題とオフィスアワー 第 1 回授業で説明する。			
評価方法と基準 評価方法 定期試験と平常点			
評価基準 定期試験 80%、平常点 (小テスト・受講態度等) 20%			
教科書等	教科書：『英会話・ぜったい・音読 挑戦編』(國弘正雄・著、講談社インターナショナル) この教科書は「英会話」のテキストではなく、英文読解のテキストである。また、適宜 TOEIC の問題演習をプリントで行う。		
先修科目			
関連サイトの URL			
授業アンケートへの対応			
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		